

北里大学病院 臨床検査基準値一覧

北里大学病院 臨床研究推進センター Ver. 14 2026年4月13日作成

臨床検査部：2026年4月7日改定版準拠

作成責任者： 石倉 健司

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意								
【血算・凝固検査】																				
血算一式(末梢血液一般検査)																				
WBC(白血球)	3.3-8.6	$\times 10^3/\mu\text{L}$	有	半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和								
RBC(赤血球)	M: 4.35-5.55 F: 3.86-4.92	$\times 10^6/\mu\text{L}$	有	シーフロー-DC検出法																
Hb(血色素量)	M: 13.7-16.8 F: 11.6-14.8	g/dL	有	SLSヘモグロビン法(Sodium Lauryl Sulfate)																
Hct(ヘマトクリット)	M: 40.7-50.1 F: 35.1-44.4	%	有	シーフロー-DC検出法																
MCV	83.6-98.2	fl	有	計算式による																
MCH	27.5-33.2	pg	有	計算式による																
MCHC	31.7-35.3	g/dL	有	計算式による																
RDW-CV	11.6-14.0	%		シーフロー-DC検出法																
血小板	15.8-34.8	$\times 10^4/\mu\text{L}$	有	シーフロー-DC検出法																
白血球分類(5DIFF)																				
Neutrophil (NEUT)	38.0-74.0	%		半導体を用いたフローサイトメトリー法									EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和
Eosinophil (EOSINO)	0.0-8.5	%																		
Lymphocyte (LYMPH)	16.5-49.5	%																		
Monocyte (MONO)	2.0-10.0	%																		
Basophil (BASO)	0.0-2.5	%																		
好中球数	設定なし	$/\mu\text{L}$	有																	
総リンパ球数	設定なし	$/\mu\text{L}$	有																	
網赤血球数	M:3.48-12.21 F: 3.09-10.82	$\times 10^4/\mu\text{L}$		半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和								
網赤血球(%)	0.8-2.2	%		半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和								
臍帯血セット(血算・分類)	設定なし				臍帯血	A管	不可	2	2	当日中		採血後すぐ混和								
PT(血漿プロトロンビン時間)	11.0-14.0	sec		散乱光度法(凝固時間法)	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
PT-%	80-120	%																		
PT-INR	設定なし		有																	
APTT(活性部分トロンボプラスチン時間)	24.0-39.0	sec	有	散乱光度法(凝固時間法)	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
FIB(Fibrinogen)	200-400	mg/dL	有	散乱光度法(凝固時間法)	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
可溶性フィブリン(SF)	7.0未満	$\mu\text{g}/\text{mL}$		ラテックス免疫比濁法	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
プラスミン・ α 2PI複合体(PIC)	0.8未満	$\mu\text{g}/\text{mL}$		ラテックス免疫比濁法	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
AT III	80-130	%		吸光度法(合成基質法)	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物定量)	5.0未満	$\mu\text{g}/\text{mL}$	有	ラテックス免疫比濁法	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
Dダイマー	1.0以下	$\mu\text{g}/\text{mL}$	有	ラテックス免疫比濁法	ケン酸血漿	B管	凍結	1.8	1.8	45分		採血後すぐ混和								
クロスミキシング試験(凝固因子インヒター定性)	設定なし			散乱光度法	ケン酸血漿	B管	不可	1.8	1.8	当日中	×	採血後すぐ混和								
IPF(Immature Platelet Fraction, レチプレート)	0.9-6.7	%		半導体を用いたフローサイトメトリー法	EDTA全血	A管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和								
ED27血小板数(ED27-PLT)	15.8-34.8	$\times 10^4/\mu\text{L}$		シーフロー-DC検出法	EDTA全血	ED27管	不可	2	2	30分		採血後すぐ混和								
目視血小板数(PLT-EYE)	15.8-34.8	$\times 10^4/\mu\text{L}$		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	60分	×	採血後すぐ混和								
破碎赤血球%(FRA)	0-0.5	%		目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日中	×	採血後すぐ混和								
血中寄生虫検査(マラリア)	(-)			目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日中	×	採血後すぐ混和								

項目名	基準値	小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量mL	採取量mL	報告時間	当直	採血、搬送提出時注意
白血球目視分類(末梢血液像)											
Myeloblast (MYEL-B)	0	%	目視法	EDTA全血	A管	不可	2	2	当日中	×	採血後すぐ混和
Promyelocyte (PRO-M)	0										
Myelocyte (MYELO)	0										
Metamyelocyte (MET-M)	0										
Band form (STAB)	0.5-6.5										
Segment form (SEGMNT)	38.0-74.0										
Eosinophil (EOSINO)	0.0-8.5										
Lymphocyte (LYNP)	16.5-49.5										
Monocyte (MONO)	2.0-10.0										
Basophil (BASO)	0.0-2.5										
A-LYMP	0							当日中			
EBL(赤芽球)	0	/100WBC							当日中		
出血時間(Duke法、Bleeding Time)	1.0 - 5.0	min	Duke法	耳朶血					15分	×	患者が中央採血室に入室(ストレッチャー出張)
赤沈(ESR)	M: 2-10	mm/H	有	キャピラリーフォトメトリー法	EDTA全血	赤沈管	不可	2	2	18分	採血後すぐ混和 採血量厳守 2023年5月25日より方法・採血管変更
	F: 3-15										
末梢血 NAP(好中球アルカリフォスファターゼ)											
NAP-SCOR	M: 170-335	%	朝長法	末梢血	耳朶血	不可	適宜	適宜	2日	×	患者が中央採血室に入室(ストレッチャー出張)
	F: 189-367										
NAP-RATE	M: 61.0-100.0										
	F: 68.0-100.0										
末梢血 Peroxidase	設定なし		ジアミノベンジン法(DAB法)	EDTA全血	A管			2-3日	×		
末梢血 Esterase	設定なし		αナフチルプテレート-ASDクロロアセテート2重染色法	EDTA全血	A管			2-3日	×		
骨髓像											
骨髓 Peroxidase	別紙報告		ジアミノベンジン法(DAB法)	骨髓液	A管	不可	0.3	2	5-7日	×	骨髓像検査依頼書提出
骨髓 PAS	別紙報告		Periodic-Acid Schiff反応(過ヨウ素酸シッフ反応)								
骨髓 鉄	別紙報告		ベルリン青法								
骨髓 Esterase	別紙報告		αナフチルプテレート-ASDクロロアセテート2重染色法								
血小板粘着能(Platelet Adherence) コラーゲン法	30-70	%	コラーゲンカラム法 Savzman法	EDTA血: 前 EDTA血: 後	A管	不可	前後各2.0	前後各2.0	30分	×	要予約☎8524 食待ち検査室採血
血小板凝集能(Platelet Aggligation) ADP他	ADP 1.0μM >50 2.5μM >60 5.0μM >70	%	光電光度計による比濁法(Born法)	ケン酸血漿	B管 3本	不可	各1.8	5.4	当日中	×	要予約☎8524 食待ち検査室採血
【穿刺液】											
髄液蛋白	10-40	mg/dL			滅菌スリッ	不可	0.2	1	60分		
髄液糖	50-75	mg/dL					0.2				
髄液細胞数	0-5	コ/μl					0.5				
髄液 P:M比	設定なし						0.5				
IgG[髄液]	0-4	mg/dL	TIA法	髄液	滅菌スリッ	凍結	0.5	5	45分		

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【生化学・免疫】												
グリコヘモグロビン(HbA1c)	4.6-6.2(NGSP)	%		酵素法	G管血球	G管	冷蔵	0.5	2	40分		追加は当日まで
血糖	73-109	mg/dL		HK-G6PDH 法	G管血漿	G管	冷蔵	0.5	2	40分		追加は1時間以内
血糖(血清)	73-109	mg/dL		HK-G6PDH 法	血清	C黄管	凍結	0.5	2	40分		採血後速やかに提出
グリコアルブミン(GA)	11.0-16.0	%		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	3	40分		
総蛋白(TP)	6.6-8.1	g/dL	有	ビウレット法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
アルブミン(Alb)	4.1-5.1	g/dL	有	改良BCP 法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
総ビリルビン (T-Bil)	0.4-1.5	mg/dL	有	バナジン酸酸化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
直接ビリルビン(D-Bil)	0.3以下	mg/dL		バナジン酸酸化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
尿素窒素(UN)	8.0-20.0	mg/dL	有	イソクエン酸脱水素酵素(ICDH)によるアンモニア消去法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
クレアチニン(CRE)	M 0.65-1.07	mg/dL	有	酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 0.46-0.79	mg/dL										
eGFR	60以上	ml/min/1.73m ²		日本腎臓病学会(2008) 日本小児腎臓病学会(2019) の計算式による								年齢、性別、身長、 CRE値より計算
尿酸(UA)	M:3.7-7.0	mg/dL	有	ウリカーゼ POD 法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:2.6-7.0	mg/dL										
AST(GOT)	13-30	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて上昇
ALT(GPT)	M:10-42	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:7-23											
アルカリフォスファターゼ(ALP)	38-113	U/L	有	IFCC法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2020年4月1日よりIFCC法
γ-GTP	M 13-64	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 9-32	U/L										
血清コリンエステラーゼ(S-CH-E)	M:240-486	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F:201-421											
LD(LDH乳酸脱水素酵素)	124-222	U/L	有	IFCC法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて上昇 2020年4月1日よりIFCC法
CK(CPKクレアチンキナーゼ)	M 59-248	U/L	有	JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 41-153	U/L										
アミラーゼ(AMY)	44-132	U/L		JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
膵型アミラーゼ(P-AMY)	15-50	U/L		JSCC標準化対応法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2023年8月8日より院内導入
リパーゼ(LIP)	16-55	U/L		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
総胆汁酸(TBA)	10.0未満	μmol/l		酵素サイクリング法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
ロイシナムイペプチダーゼ(LAP)	30-70	U/L		L-ロイシル-P-ニトロアニリド基質法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CRP定量	0.14以下	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2020年4月1日より高感度
総コレステロール(T-Cho)	142-248	mg/dL	有	COD-POD 酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
中性脂肪(TG、トリグリセライド)	M:40-149	mg/dL	有	FG消去酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		空腹時が望ましい
	F:30-149											
HDLコレステロール(HDL-C)	M 40-90	mg/dL		選択的抑制法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 40-103	mg/dL										
LDLコレステロール(LDL-C)	65-139	mg/dL		選択的可溶化法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Na(ナトリウム)	138-145	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
K(カリウム)	3.6-4.8	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CL(クロール)	101-108	mmol/L	有	電極法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Ca(カルシウム)	8.8-10.1	mg/dL	有	MXB法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
IP(無機リン)	2.7-4.6	mg/dL	有	酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
Fe(血清鉄)	40-188	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
		μg/dL										
TIBC(総鉄結合能)	M 250-380	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法(計算法)	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
	F 250-450	μg/dL										
UIBC(不飽和鉄結合能)	191-269	μg/dL		パソフェナントロリン 直接法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量mL	採取量mL	報告時間	当直	採血、搬送提出時注意
Mg(マグネシウム)	1.8-2.4	mg/dL		酵素法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
CK-MB	12以下	U/L		免疫阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
トロポニンT	0.014以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血にて低下追加は当日まで
ミオグロビン	M: 97.0以下 F: 74.0以下	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
NT-Pro BNP	55以下	pg/ml		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	3	40分		2020年10月9日より院内導入
乳酸	4.0-16.0	mg/dL		酵素法	FH血漿	FH管	凍結	0.5	2	40分		
アンモニア	12-66	μg/dL		酵素法	ヘリン血漿	H管	不可	0.5	2	40分		氷冷直出、溶血にて上昇
重炭酸塩	M: 22.5-26.9 F: 21.8-26.2	mmol/L		酵素法	血清	C黄管	不可	0.5	5	40分		採血量3mL以上を推奨(少ないと負誤差)
動脈血ケトン体比(AKBR)	0.7以上			酵素サイクリング法								
アセト酢酸	70以下	μmol/L		酵素サイクリング法	ヘリン血漿	H管	不可	0.5	2	40分		氷冷直出
3-ヒドロキシ酪酸	80以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
ケトン体分画	設定なし	μmol/L		酵素サイクリング法								
アセト酢酸	14-68	μmol/L		酵素サイクリング法	血清	C黄管	凍結	0.5	2	40分		
3-ヒドロキシ酪酸	74以下	μmol/L		酵素サイクリング法								
浸透圧(OSMO)	282-297	mOsm/kg・H ₂ O		氷点降下法	血清	C黄管	凍結	0.5	3	60分		
A/G 比	1.32-2.23			計算法 ALB/(TP-ALB)	血清	C黄管	凍結	0.5		40分		治験のみオーター
プレアルブミン(トランスサイレチン)	22.0-40.0	mg/dl		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
レチノール結合蛋白(RBP)	1.7-5.6	mg/dl		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
亜鉛(Zn)	80-130	μg/dl		直接法(キレート比色法)	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		速やかに分離凍結 早朝空腹時採血が望ましい
RF(リウマトイド因子)	15以下	IU/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
KL-6(シアリル糖鎖抗原)	500未満	U/ml		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
SP-D(サーファクタント蛋白D)	109.8以下	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2024年6月28日より院内導入
MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ3)	M: 35.2-123.8 F: 16.1-56.8	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		
LRG(ロイソリッチα2βリコリン)	16.0未満	μg/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		2026年2月13日より院内導入
インスリン	1.15-12.15	μIU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血不可、追加は当日まで
TSH(甲状腺刺激ホルモン)	0.50-5.00	μIU/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
FT3(遊離トリヨードサイロニン)	2.30-4.00	pg/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
FT4(遊離サイロキシン)	0.90-1.70	ng/dL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
TRAb(TSH抗レセプター抗体)	2.00未満	IU/L		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		溶血不可、低値追加は3日まで
サイログロブリン(Tg)	33.70以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
抗サイログロブリン抗体(抗TgAb)	28未満	IU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	16未満	IU/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
HCG(ヒト胎盤絨毛性ゴナドトロピン)	M: 2以下 F: 3以下	mIU/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は3日まで
エストラジオール(E2)	M: 14.6-48.8 F: 卵胞期 28.8-196.8 排卵期 36.4-525.9 黄体期 44.1-491.9 閉経後 47.0以下 妊娠女性 初期 208.5-4289 中期 2808-28700 後期 9875-31800	pg/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで

項目名	基準値	小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
黄体形成ホルモン(LH)	M: 1.7-8.6 F: 卵胞期 2.4-12.6 排卵期 14.0-95.6 黄体期 1.0-11.4 閉経期 7.7-58.5	mIU/mL	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2023年1月20日より院内導入
卵胞刺激ホルモン(FSH)	M: 1.5-12.4 F: 卵胞期 3.5-12.5 排卵期 4.7-21.5 黄体期 1.7-7.7 閉経期 25.8-134.8	mIU/mL	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2023年1月20日より院内導入
プロゲステロン	M: 0.2以下 F: 卵胞期 0.3以下 排卵期 5.7以下 黄体期 2.1-24.2 閉経期 0.3以下 妊娠女性 初期 12.0-51.8 中期 24.3-82.0 後期 63.5-174.4	ng/mL	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は5日以内 2023年1月20日より院内導入
プロラクチン(PRL)	M: 4.29-13.69 F: 閉経前 4.91-29.32 閉経後 3.12-15.39	ng/mL	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2023年1月20日より院内導入
コルチゾール	6-10時 7.07-19.60 16-20時 2.96-9.77	μg/dL	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は4日以内
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	7-10時 7.2~63.3	pg/mL	ECLIA法	血漿	A管水冷	凍結	0.5	2	40分		EDTA過剰で偽低値 採血量厳守、 溶血不可、 水冷提出 追加不可
副甲状腺ホルモン(PTH-インタクト)	10-65	pg/mL	ECLIA法	血漿	EDTA管	凍結	0.5	2	40分		水冷提出、 追加不可 溶血不可
プロカルシトニン【血液】	参考基準値: 0.046 細菌性敗血症診断 カットオフ値 <0.5:重症敗血症 リスク低い ≥2.0:重症敗血症 リスク高い	ng/mL	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで
IgG	861-1747	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	
IgA	93-393	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	
IgM	M:33-183 F:50-269	mg/dL	有	TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	
IgG4	11.0-121.0	mg/dL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	2024年6月28日より院内導入
フェリチン(FERRITIN)	M 13-277 F 5-152	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	
C3(β1C/β1Aグロブリン)	73-138	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	
C4(β1Eグロブリン)	11-31	mg/dL		TIA法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	
CH50(血清補体価)	25-45	U/ml		補体溶血法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分	追加検査不可
可溶性インターロイキン2レセプター	122-496	U/ml		ラテックス免疫比濁法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分	2018年3月30日より院内導入
CEA(癌胎児性抗原)	5.0以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分	2017年10月10日より方法変更
AFP(α-フェトプロテイン)	10以下	ng/mL	有	ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分	2017年10月10日より方法変更

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
CA19-9	37以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA125	35以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA15-3	25以下	U/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		2017年10月10日より方法変更
CA72-4	6.9以下	U/ml		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		
PSA(前立腺特異抗原)	4.00以下	ng/mL		ECLIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日まで 2017年10月10日より方法変更
PIVKA II	40未満	mAV/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		
TPLA(梅毒検査)	(-) 10未満	U/mL		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(±) 10-19	U/mL										
RPR(梅毒検査)	(-) 1.0未満	R.U.		ラテックス免疫比濁法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		残検体での検査不可
	(±) 1.0-2.9	R.U.										
HBs抗原定量(B型肝炎ウイルス表面抗原)	(-) 0.005未満	IU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可 2020年4月1日より試薬変更
HBs抗体(B型肝炎ウイルス表面抗体)	(-) 10未満	mIU/mL		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
HCV抗体(C型肝炎ウイルス抗体)	(-) 1.0未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
	(判定保留) 1.0-1.9	C.O.I.										
HBc抗体(B型肝炎ウイルスコア抗体)	(-) 0.8未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
	(判定保留) 0.8-1.1	C.O.I.										
HIV-1.2抗原抗体(CLEIA法)	(-) 1.0未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
HIV-1.2抗原抗体(CLEIA法) 術前・病院負担	(-) 1.0未満	C.O.I.		CLEIA法	血清	C青管	凍結	0.5	5	60分		残検体での検査不可
SARS-CoV-2抗原定量	(-) 1.00未満	pg/mL		CLEIA法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ	冷蔵	適宜	適宜	80分		
術中腫アミラーゼ	設定なし	U/L		JSCC標準化対応法	尿液	滅菌スリット	凍結	0.5	5	60分		50A伝票と一緒に提出
腹水溶血チェック	設定なし			比色法	腹水	C黄	凍結	0.5	5	45分		
【血液ガス】												
動脈血ガス					ヘパリン血液(動脈血)	ヘパリンシリッジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除去し直ちに提出
pH	7.350 - 7.450			電極法							5分	
pCO2	35.0-45.0	mmHg										
pO2	80.0以上	mmHg		計算式による								
重炭酸イオン	21.0-27.0	mmol/L										
BE	-2.3 - +2.3	mmol/L										
酸素飽和度	95以上	%										
Caイオン	1.15-1.35	mmol/L		電極法								
酸素化Hb	94.0-97.0	%										
還元Hb	5.0以下	%										
カルボキシHb	1.5以下	%										
メトHb	1.5以下	%										
末梢静脈血					ヘパリン血液(末梢静脈血)	ヘパリンシリッジ	不可	2.5	2.5			
中心静脈血					ヘパリン血液(中心静脈血)	ヘパリンシリッジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除去し直ちに提出
混合静脈血					ヘパリン血液(混合静脈血)	ヘパリンシリッジ	不可	2.5	2.5			採血後気泡除去し直ちに提出

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意	
【尿化学】													
24時間CCR	69.0-175.0	l/day		24時間1回計算法	血清 蓄尿	C黄管 U1管	冷蔵 (凍結可)	0.5 0.5	5	45分			
尿中蛋白定量	設定なし	mg/dL		ピロガロールレッド法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		蓄尿参考 値： 20~120 mg/day	
尿中糖定量	設定なし	g/dL		HK-G6PDH 法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		蓄尿参考 値： 40~85 mg/day	
尿素窒素(UN)	設定なし	mg/dL		ウレアーゼUV 法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
クレアチニン(CRE)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		蓄尿参考 値： 0.5~1.5 g/day	
尿酸(UA)	設定なし	mg/dL		ウリカーゼ POD 法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
OSMO(浸透圧)	参考基準範囲 (590-1010)	mOsm/kg.H2O		氷点降下法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	60分			
Na(ナトリウム)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
K(カリウム)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
CL(クロール)	設定なし	mmol/L		電極法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
Ca(カルシウム)	設定なし	mg/dL		MXB法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
IP(無機リン)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
Mg(マグネシウム)	設定なし	mg/dL		酵素法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
尿中微量アルブミン	設定なし	mg/L		TIA法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
尿中微量アルブミン	0.0-16.0	mg/g・Crea		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
アミラーゼ(AMY)	設定なし	U/L		JSCC標準化対応法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
膵型アミラーゼ(P-AMY)	設定なし	U/L		JSCC標準化対応法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分		2023年8月8 日より院内 導入	
尿中NAG (N-アセチルグルコサミニダーゼ)	0-10.9	U/L		MPT- NAG基質法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
α2グロブリン	設定なし	ng/mL		ラテックス免疫比濁法	任意尿 蓄尿	U1管	不可	0.5	5	45分		当日のみ	
IgG	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿 蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
IgA	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
IgM	設定なし	mg/dL		TIA法	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
推定蛋白摂取量の算出	設定なし	mg/day		蓄尿BUN、 蓄尿量、体重より算出	蓄尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
推定1日食塩摂取量の算出	設定なし	g/day		任意尿Na Cre 身長、 体重、年齢より算出	任意尿	U1管	凍結	0.5	5	45分			
【一般検査】													
定性一式+沈査 AUTO					尿	黄スビ ッツ	不可	10	10	30分			
定性一式					尿	黄スビ ッツ	不可	10	10	15分			
比重	1.005-1.030			試験紙法									
pH	5.0-7.5												
糖	(-)												
蛋白	(-)												
潜血	(-)												
ケトン体	(-)												
ビリルビン	(-)												
ウロビリノーゲン	(+-)												
亜硝酸塩	(-)												

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意	
尿沈渣					尿	黄スリッ	不可	10	10	30分	一部 項目	検査量未満 の場合は要 相談 蓄尿では検 査不可	
赤血球	<5		毎視野HPF								×		
白血球	<5		毎視野HPF								×		
上皮											×		
円柱											×		
結晶											×		
細菌													
マルベリー小体					尿	黄スリッ	不可	10	10	当日 中	×	検査量未満 の場合は要 相談 蓄尿では検 査不可	
気管支洗浄液一式		/μL %					不可			60分	×		
HCG定性(ヒト胎盤絨毛性ゴナド ロピン、妊娠反応)				金コロイド免疫クロマト法				3	3	15分			
尿中BTA(泌尿器外来専用)	(-)			ラテックス凝集法			不可	3	5	30分	×		
便潜血(免疫法)	0-99 (-)	ng/mL		ラテックス免疫比濁法			冷蔵			30分	×	冷蔵保存で7 日間	
精液検査 (スクリーニングは下記の全項目) (人工受精(AIH)は※項目のみ)					精液	PP遠沈管	不可	0.6 0.1※	0.6 0.1※	60分	×	2024年3月4 日より方法変 更	
精子濃度	16以上	10 ⁶ /mL	光学法(SQA-V)									WHO精液検 査ラボラトリー マニュアル第 6版(2021)に 準拠	
運動率	42以上	%											
正常形態率	4以上	%											
精液量 ※	1.4以上	mL											
運動精子濃度 ※	設定なし	10 ⁶ /mL											
平均精子速度 ※	設定なし	μ m/秒											
SMI ※	設定なし												
総精子数	39以上	10 ⁶ /精 液中											
総運動精子数	設定なし	10 ⁶ /精 液中											
【血中薬物濃度】													
ティコプラニン	10.0-30.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分			
アルベカシン	ピーク9-20 トランプ<2.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分			
バンコマイシン	10.0-20.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分			
ゲンタマイシン	ピーク8.0-20.0 トランプ<1.0	μg/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分			
フェノバルビタール	10.0-25.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日 まで	
フェニトイン	10.0 - 20.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日 まで	
カルバマゼピン	4.0-12.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日 まで	
バルプロ酸	40.0-120.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分			
テオフィリン	5.0-20.0	μg/mL	有	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分			
ジゴキシシン	0.5-2.0	ng/mL		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分		追加は当日 まで	
メトトレキサート	設定なし	μmol/l		ラテックス免疫凝集阻害法	血清	C黄管	凍結	0.5	5	40分			
シクロスポリン	設定なし	ng/mL		ACMIA法	EDTA全血	EDTA管	凍結	0.5	5	60分			
タクロリムス	設定なし	ng/mL		ACMIA法	EDTA全血	A管	凍結	0.5	5	60分		EDTA影響あり 2 mL厳守	
リチウム	0.60-1.20	mmol/l	有	吸光光度法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分			
アセトアミノフェン	設定なし	μg/mL		酵素法	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分			
エチルアルコール(血中)	0.0-3.0	mg/dL		酵素法	血清	C茶管	不可	0.5	5	60分		アルコール 消毒禁止 開栓不可	
ミコフェノール酸モフェチル	設定なし	μg/mL		改良型免疫阻害比濁法 (PETINIA法)	血清	C茶管	凍結	0.5	5	60分			

項目名	基準値	小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量mL	採取量mL	報告時間	当直	採血・搬送提出時注意
【迅速抗原検査】											
アデノウイルス抗原【結膜】	(-)		IC法	結膜ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【咽頭】	(-)		IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【IC法】【便】	(-)		IC法	便	滅菌スリット	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要連絡8501
アデノウイルス抗原【結膜】北里関係者	(-)		IC法	結膜ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【咽頭】北里関係者	(-)		IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
アデノウイルス抗原【IC法】【便】北里関係者	(-)		IC法	便	滅菌スリット	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要連絡8501
ロタウイルス抗原【便】	(-)		IC法	便	滅菌スリット	凍結		適宜	30分	×	至急の場合要連絡8501
インフルエンザウイルス抗原【鼻腔】	(-)		IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【咽頭】	(-)		IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【鼻腔】北里関係者	(-)		IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
インフルエンザウイルス抗原【咽頭】北里関係者	(-)		IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ			適宜	30分		
RSウイルス抗原【鼻汁】	(-)		IC法	鼻汁ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
RSウイルス抗原【喀痰】	(-)		IC法	喀痰	喀痰容器			適宜	30分		
尿中レジオネラ抗原	(-)		IC法	尿	滅菌スリット	凍結	0.5	5	30分	×	
尿中肺炎球菌夾膜抗原	(-)		IC法	尿	滅菌スリット	凍結	0.5	5	30分	×	
CDトキシン	(-)		IC法	便	滅菌スリット	冷蔵	0.5	0.5	30分	×	至急の場合要連絡8501
A群ベータ溶血連鎖球菌抗原【咽頭】	(-)		IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
百日咳菌抗原【鼻咽頭】	(-)		IC法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ	凍結		適宜	30分	×	2021年10月より開始
ヒトメタニューモウイルス抗原【鼻腔】	(-)		IC法	鼻腔ぬぐい	鼻腔用スワブ			適宜	30分		
肺炎球菌抗原【喀痰・咽頭】	(-)		IC法	喀痰 咽頭ぬぐい	滅菌容器 咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
マイコプラズマ抗原【咽頭】	(-)		IC法	咽頭ぬぐい	咽頭用スワブ	凍結		適宜	30分	×	
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原【皮疹内容】	(-)		IC法	皮疹内容物ぬぐい	スリットスワブ	冷蔵		適宜	30分	×	2018年10月より開始
単純ヘルペスウイルス抗原【性器・皮疹内容】	(-)		IC法	性器ぬぐい 皮疹内容物ぬぐい	スリットスワブ	冷蔵		適宜	30分	×	2023年6月より開始
【遺伝子・染色体】											
MAJOR BCR/ABL キメラRNA定性	(-)		RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
MINOR BCR/ABLキメラRNA定性	(-)		RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
PML/RARα-1キメラ RNA (15:21)定性	(-)		RT-PCR法	EDTA血液	EDTA管	不可	5	5	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
MAJOR BCR/ABL キメラRNA定性	(-)		RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
MINOR BCR/ABLキメラRNA定性	(-)		RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
PML/RARα-1キメラ RNA (15:21)定性	(-)		RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
minor BCR/ABL mRNA定量	設定なし		RT-PCR法	骨髓穿刺液	A管	不可	0.5	2	1~2日	×	採血量厳守、直ぐ提出 預かり不可だが全血冷蔵保存
Leber DNA			Direct sequence MGB-Probe	血液	EDTA管	不可		5	4~6日	×	
SARS-Cov-2 PCR	(-)		RT-PCR法	唾液	滅菌容器	凍結	1	1	1日	×	採取イントラネット参照
SARS-Cov-2 PCR	(-)		RT-PCR法	鼻咽頭ぬぐい	鼻腔用スワブ+ 滅菌生食1mL	凍結	1	1	1日	×	採取イントラネット参照

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
FilmArray髄膜炎・脳炎パネル	(-)			マイクロアレイ法	髄液	滅菌スリット	凍結	0.6	0.6	2時間	×	残検体での検査不可 平日15時まで受付、以降は翌平日まで預かり 2023年4月17日より開始
HLA DNA Typing献腎(A,B,DR)				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2~3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA Typing生体レシピエント(A,B,DR)				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2~3日	×	残検体での検査不可 必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA Typing生体ドナー(A,B,DR)				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2~3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
HLA DNA TypingDQ				PCR-SSP	血液	EDTA管	不可	5	5	2~3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
リンパ球クロスマッチ レシピエント				FCM	血液	C茶管	不可	3	5	2~3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
リンパ球クロスマッチ ドナー(C茶管+H管)				FCM	血液	H管 C茶管	不可	15 3	15 3	2~3日	×	必ず事前連絡、 時間内提出
先天性疾患染色体G-Band【末梢血】	設定なし			G-Band法	末梢血	H管	不可	1	5	2~3週間	×	採血困難な場合は ヘパリン加シリッジにて提出。 凝固しないようよく混和
先天性疾患染色体G-Band【臍帯血】	設定なし			G-Band法	臍帯血	ヘパリンシリッジ	不可	1	5	2~3週間	×	ヘパリン加シリッジにて提出。 凝固しないようよく混和
先天性疾患染色体G-Band【絨毛】	設定なし			G-Band法	絨毛	専用容器	不可	適宜	適宜	1ヶ月	×	専用容器は検査室へ 気送管禁止、直接検査室へ
先天性疾患染色体G-Band【組織】	設定なし			G-Band法	組織	専用容器	不可	適宜	適宜	1ヶ月	×	専用容器は検査室へ 気送管禁止、直接検査室へ
出生前染色体G-Band【羊水】	設定なし			G-Band法	羊水	専用容器	不可	15	15	3週間	×	著しい血液混入はヘパリン添加。 気送管禁止、直接検査室へ

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
【輸血】												
CD34	設定なし	/μL		フローサイトメトリー法	EDTA血液	A管	不可		2	1~2時間	×	輸血センターに予約
輸血検査 (交差試験・不規則抗体検査)	陰性 陰性 陰性			カラム凝集法 間接抗グロブリン法 酵素法 (フィンシン法)	血漿・血球 血清	輸血検査用・ C茶管	遠心後冷蔵	7 4	7 4	40分		血液型検査と輸血検査(交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。残検体での検査不可
ABO・Rh(D)血液型				カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		血液型検査と輸血検査(交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。残検体での検査不可 生後4ヶ月以内はABOオモ子検査のみ(ABOウラ未実施)で報告。
臍帯血ABO・Rh(D)血液型				カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		血液型検査と輸血検査(交差適合試験・不規則抗体)は、異なる時点での採血をしてください。残検体での検査不可
直接クームス試験	陰性 0 0			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		室温保存で速やかに提出
臍帯血直接クームス試験	陰性 0 0			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	20分		
間接クームス試験	陰性 0			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	30分		
間接クームス試験 (輸血予定患者用)	陰性 0 0			カラム凝集法 間接抗グロブリン法 酵素法 (フィンシン法)	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	40分		
臍帯血間接クームス試験	陰性 0			カラム凝集法	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	30分		
抗体価測定(母児不適合妊娠)				試験管法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5	5	1~2日	×	事前に電話にて予約
臍帯血抗体価測定 (母児不適合妊娠)				試験管法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血漿 血球	EDTA管	遠心後冷蔵	5		1~2日	×	事前に電話にて予約
腎移植用抗A抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1~2日	×	事前に電話にて予約
腎移植用抗B抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1~2日	×	事前に電話にて予約
抗A抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1~2日	×	事前に電話にて予約
抗B抗体価測定				カラム凝集法 (生食法、間接抗グロブリン法)	血清	C茶管	冷蔵	6	6	1~2日	×	事前に電話にて予約
輸血前感染症検査					血清	C茶管	冷蔵	6	6		×	
輸血後感染症検査(輸血後2~3ヵ月後に実施)					血清	C茶管	冷蔵	6	6		×	
【微生物】												
細菌【呼吸器系由来】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	喀痰	喀痰容器	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	鼻腔	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	口腔	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	菌肉	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材 料	容 器	保 存	検査量 mL	採取量 mL	報告 時間	当直	採血、搬送 提出時注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	舌苔	シート・スワブ	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	咽頭	シート・スワブ	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	気管内吸引物	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	気管支洗浄	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	呼吸系カテップ	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
細菌【消化器系由来】				培養同定・薬剤感受性	便	細菌便容器	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胃液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	十二指腸液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胆汁	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	膵液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	大腸	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	消化器系 カテップ	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
細菌【血液穿刺液】				培養同定・薬剤感受性	血液	カルチャーボトル	室温			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	穿刺液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	髄液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	胸水	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腹水	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	関節液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	心嚢液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	骨髄穿刺液	ヘパリン添加	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	羊水	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	前房水	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	水泡内容物	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	腫瘍内容液	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	血液カテ	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性	穿刺カテ	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
細菌【皮膚糸状菌検索】				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	皮膚	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	組織	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	爪	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	鱗屑	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定・薬剤感受性 塗抹検査	毛髪	滅菌スリット	冷蔵			3~7 日	×	検体の漏れ、 汚染に注意

項目名	基準値	小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
細菌【泌尿生殖器由来】			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	尿	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	膀胱穿刺液	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	尿道分泌物	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	陰分泌物	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	頸管内容	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	腔内容	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	子宮内用	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	胎盤	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹検査	外陰部	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性	泌尿生殖器系カチップ	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
細菌【その他】			培養同定・薬剤感受性塗抹	膿	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	浸出液	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	PD排液	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	ドレーン	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	皮膚	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	眼脂	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	耳漏	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	扁桃	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	リンパ節	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	組織	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	骨	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	爪	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	鱗屑	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	毛髪	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	角膜	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	肺臓	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	腎臓	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	臍	シート・スワブ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定・薬剤感受性塗抹	その他	滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意

項目名	基準値	小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
細菌【骨バンク専用】			培養同定		滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定		滅菌スリッパ	冷蔵			3~7日	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌【呼吸器系由来】			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	喀痰	喀痰容器	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	咽頭	シート・スワブ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)・PCR	胃液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹	気管支挿過	スライドガラス	冷蔵			1~2日	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	気管内吸引物	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	気管支洗浄	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	呼吸系カテック	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌【消化器系由来】			培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	便	滅菌容器	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	大腸	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌【泌尿生殖器由来】			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	尿	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	尿道分泌物	シート・スワブ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	膣分泌物	シート・スワブ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	膀胱洗浄液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
抗酸菌【血液穿刺液】			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)・PCR	血液(PCR)	EDTA管	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
				血液(培養)	ヘパリン管	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	穿刺液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	髄液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	胸水	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	腹水	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	関節液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	心嚢液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	骨髄穿刺液	ヘパリン添加	冷蔵			1~2ヶ月	×	PCRはEDTA管、培養はヘパリン
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	水泡内容物	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意
			塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	腫瘍内容液	滅菌スリッパ	冷蔵			1~2ヶ月	×	検体の漏れ、汚染に注意

項目名	基準値		小児基準値	測定方法	材料	容器	保存	検査量 mL	採取量 mL	報告時間	当直	採血、搬送 提出時注意
抗酸菌【その他】				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	膿	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	浸出液	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	皮膚	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	耳漏	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL)	扁桃	シート・スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	リンパ節	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	組織	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	骨	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	骨髓	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	肺臓	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	脾臓	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) 塗抹	肝臓	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	腎臓	滅菌スワブ	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意
				塗抹・培養同定(KOBAL) 薬剤感受性(KOBAL) PCR	その他	滅菌容器	冷蔵			1～ 2ヶ月	×	検体の漏れ、 汚染に注意

JCCLS共用基準範囲

試薬添付文書

基準範囲根拠: 臨床検査提要第35版

学会推奨値など

詳細は各手順書参照